

平成10年度落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成10年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成11年1月26日(火)にサンレイク土浦において開催された。

この検討会には、試験場関係者92名、委託関係者60名ほか、計157名の参集を得て、除草剤12薬剤(149点)、

生育調節剤13薬剤(75点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成10年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除 草 剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml < 水量 ml > / a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. CG-231GT 70アブ・ル剤 CG-231 3.6% ク・リホートイゾブ・ロヒ・ルアミ ン塩 14.4%	ナ シ	適用性 新 規	福島県試、 長野南信農試、 福井農試、 佐賀県試、 熊本農研果樹 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml < 10 ℓ > ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 50ml < 10 ℓ >	継 継) ・ 効果、薬害の確認。	
		薬 害 新 規	山形砂丘地農試、 石川農総研 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ; 120→120ml < 10 ℓ > ②春期又は夏期 300ml < 10 ℓ > ; 土壌処理		
	モ モ	適用性 新 規	宮城園試、 愛知農試園研、 和歌山果試紀北、 岡山農試、 福岡農総試豊前 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml < 10 ℓ > ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 50ml < 10 ℓ >		
		薬 害 新 規	宮城園試、 秋田県試 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ; 120→120ml < 10 ℓ > ②春期又は夏期 300ml < 10 ℓ > ; 土壌処理		
[ハ・ルティス アク・ロ]						
2. DKH-628 70アブ・ル剤 (イノベーション) ア・フェニシ・ン 11% ク・リホートトリメシウム塩 28%	西洋 ナシ	薬 害 継 続	岩手農研 (1)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ; 120→120ml < 10 ℓ > ②春期又は夏期 300ml < 10 ℓ > ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)	実 実) [ブドウ、カキ、オウトウ ・ 雑草全般] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下)、 ・ 40～60ml/a (10 ℓ / a) . ・ 茎葉処理。 継) ・ ナシ、モモの薬害発生要因に ついて、 ・ 秋冬期処理のナシ、オウトウ の効果、薬害について。	
	カ キ	薬 害 継 続	広島県立大学、 岐阜農総研 (2)			
	モ モ	薬 害 継 続	福島植防、 岡山農試 (2)	[薬害試験; 回復状況]		
	オウ トウ	薬 害 継 続	秋田県試、 山梨県試 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ; 120→120ml < 10 ℓ > ②春期又は夏期 300ml < 10 ℓ > ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
[デュボン]						

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <=>中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
3. F-701 顆粒水和剤 カルフェントラシンエチル 0.7% グリホサートアンモニウム塩 25.0% [エフ・エム・シー]	ブドウ	適用性 新 規	秋田果試天王、 栃木農試、 島根農試、 徳島果試県北、 福岡農総試園研 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;30、40、50g<10ℓ> ;茎葉処理 対:バスタ液剤 50ml<10ℓ>	継 継)	・効果、薬害の確認。
		薬 害 新 規	石川砂丘地農試、 大分農技 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ;100→100g<10ℓ> ②春期又は夏期 250g<10ℓ> ;土壌処理		
	ナシ	適用性 新 規	茨城農総試園研、 富山農技果試、 三重農技、 兵庫北部農技、 佐賀果試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;30、40、50g<10ℓ> ;茎葉処理 対:バスタ液剤 50ml<10ℓ>		
		薬 害 新 規	群馬園試、 石川農総研 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ;100→100g<10ℓ> ②春期又は夏期 250g<10ℓ> ;土壌処理		
4. F-702 液剤 新規化合物 0.5% 既知化合物 20.0% [エフ・エム・シー]	ブドウ	適用性 新 規	長野中信農試、 山梨果試、 大阪農技、 香川農試府中、 大分農技 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;30、40、50、60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:バスタ液剤 50ml<10ℓ>	継 継)	・効果、薬害の確認。
	ナシ	適用性 新 規	埼玉園試、 長野南信農試、 奈良果樹振興、 兵庫北部農技、 熊本農研果樹 (5)			
5. MON-93A 液剤 (プロンコ) グリホサートアンモニウム塩 33% [日本モンサント]	ウメ	適用性 継 続	群馬園試、 福井園試、 愛媛果試 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25ml<2.5、5 (少水量散布/スℓ)、10ℓ> 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ(少水量散布/スℓ)>	実 ・ 継	実) [ブドウ、ナシ、モモ、ウメ:雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;25～50ml/a 多年生雑草対象 ;50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a (専用/スℓ使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・多年生雑草に対する効果の確認。
		適用性 継 続	群馬園試、 福井園試、 愛媛果試 (3)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;50ml<2.5、5 (少水量散布/スℓ)、10ℓ> 100ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 50ml <2.5ℓ(少水量散布/スℓ)>		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
6. MON-96A 液剤 グリホサートアンモニウム塩 41%	ブドウ	適用性 継 続	山梨果試、 兵庫中央農技、 熊本農研球磨	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25ml<2.5、5 (少水量散布ノズル)、10ℓ>、 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ (少水量散布ノズル)>	実 ・ 継	実) [ブドウ、ナシ、オウト ウ、モモ、ウメ、カキ、クリ: 雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;25～50ml/a 多年生雑草対象 ;50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a (専用ノズル使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. スギナ対象 ;150～200ml/a <2.5～5.0ℓ/a (専用ノズル使用)>. ・茎葉処理. 継) ・秋冬期処理について. ・薬害試験. (・スギナは試験実施中).
		適用性 継 続	群馬園試、 兵庫中央農技、 熊本農研球磨	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;50ml<2.5、5 (少水量散布ノズル)、10ℓ>、 100ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 50ml <2.5ℓ (少水量散布ノズル)>		
		適用性 継 続	弘前大学、 埼玉園試、 長野中信農試 (3)	[スギナ;翌春調査を含む] 春期 生育期(草丈20～25cm程度) ;150ml<2.5、5ℓ>、200ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布ノズル)		
		適用性 継 続	翌春調査 大阪農技 (1)			
		薬 害 継 続	岩手農研、 佐賀果試(新規)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期 1,000ml<10ℓ> ;土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
	ナ シ	適用性 継 続	茨城農総試園研、 鳥取園試、 長崎果試 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25ml<2.5、5 (少水量散布ノズル)、10ℓ>、 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ (少水量散布ノズル)>		
		適用性 継 続	茨城農総試園研、 兵庫北部農技、 鳥取園試、 長崎果試 (4)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;50ml<2.5、5 (少水量散布ノズル)、10ℓ>、 100ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 50ml <2.5ℓ (少水量散布ノズル)>		
(つづく)						

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
6. MON-96A 液剤 (つづき)		適用性 継 続	埼玉園試、 岐阜農総研、 佐賀果試 (3)	[スギナ; 翌春調査含む] 春期 生育期(草丈20~25cm程度) ; 150ml<2.5, 5ℓ>、200ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 200ml<5ℓ> (共に少水量散布ノズル)		
		薬 害 継 続	岩手農研、 石川農総研 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期 1,000ml<10ℓ> ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
	オウ トウ	適用性 継 続	青森りんご試 県南、 山形園試、 (2)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 25ml<2.5, 5 (少水量散布ノズル)、10ℓ>、 50ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ(少水量散布ノズル)>		
		適用性 継 続	青森りんご試 県南、 山形園試、 新潟園試 (3)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml<2.5, 5 (少水量散布ノズル)、10ℓ>、 100ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 50ml <2.5ℓ(少水量散布ノズル)>		
		薬 害 継 続	秋田果試、 長野果試 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期 1,000ml<10ℓ> ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
	モ モ	適用性 継 続	広島県立大学、 高知農技果試 (2)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 25ml<2.5, 5 (少水量散布ノズル)、10ℓ>、 50ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ(少水量散布ノズル)>		
(つづく)						

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <=>中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
6. MON-96A 液剤 (つづき)		適用性 継 続	広島県立大学、 福岡農総試豊前 (2)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml<2.5、5、 (少水量散布/ス・ℓ)、10ℓ>、 100ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 50ml <2.5ℓ (少水量散布/ス・ℓ)>		
		薬 害 継 続	宮城園試、 山梨果試 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期 1,000ml<10ℓ> ;土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
	ウ メ	適用性 継 続	茨城農総試園研、 静岡柑試落葉、 徳島果試県北 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25ml<2.5、5 (少水量散布/ス・ℓ)、10ℓ>、 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ (少水量散布/ス・ℓ)>		
	ウ メ	適用性 継 続	茨城大学、 茨城農総試園研、 徳島果試県北 (3)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml<2.5、5 (少水量散布/ス・ℓ)、10ℓ>、 100ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 50ml <2.5ℓ (少水量散布/ス・ℓ)>		
	カ キ	薬 害 継 続	福井園試、 徳島果試県北 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期 1,000ml<10ℓ> ;土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
		適用性 継 続	愛知農総試園研、 奈良果樹振興、 広島農技果樹 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25ml<2.5、5 (少水量散布/ス・ℓ)、10ℓ>、 50ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:ラウンドアップ 液剤 25ml <2.5ℓ (少水量散布/ス・ℓ)>		
		適用性 新 規 (9年度)	<三重農技> (1)			
(つづく)						

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml < 水量 ml > / a ; 処理方法等	判 定	内 容
6. MON-96A 液剤 (つづき)		適用性 継 続	愛知農試園研、 奈良果樹振興、 広島農技果樹 (3)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml < 2.5, 5 (少水量散布ノズル)、10 ℓ >、 100ml < 5 ℓ > ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 50ml < 2.5 ℓ (少水量散布ノズル) >		
		適用性 新 規 (9年度)	< 三重農技 > (1)			
		薬 害 継 続	静岡柑試落葉、 岐阜農総研 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml < 10 ℓ > ②春期 1,000ml < 10 ℓ > ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
	ク リ	適用性 継 続	岐阜中山間地、 兵庫中央農技、 愛媛果試鬼北 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 25ml < 2.5, 5 (少水量散布ノズル)、10 ℓ >、 50ml < 5 ℓ > ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 25ml < 2.5 ℓ (少水量散布ノズル) >		
		適用性 継 続	岐阜中山間地、 兵庫中央農技、 愛媛果試鬼北 (3)	[多年生雑草(スギナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml < 2.5, 5 (少水量散布ノズル)、10 ℓ >、 100ml < 5 ℓ > ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ 液剤 50ml < 2.5 ℓ (少水量散布ノズル) >		
	ク リ	薬 害 継 続	岐阜中山間地、 愛媛果試鬼北 (2)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml < 10 ℓ > ②春期 1,000ml < 10 ℓ > ; 土壌処理 (前年の供試樹を使用)		
[日本モンサント]						
7. MW-851 液剤 (ハービー液剤) ビアラネス 18%	スモモ	適用性 継 続	埼玉園試、 和歌山果試紀北、 高知農技果試、 大分農技 (4)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50, 75, 100ml < 10-15 ℓ > ; 茎葉処理 対: フリタックスL 液剤 80ml < 10-15 ℓ >	実 ・ 継	実) [スモモの追加: 雑草全般] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 一年生雑草対象 ; 50～75ml/a 多年生雑草対象 ; 75～100ml/a < 10～15 ℓ /a >. ・ 茎葉処理. ・ 薬害試験.
		薬 害 新 規	埼玉園試、 大分農技 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 200→200ml < 10 ℓ > ②春期 500ml < 10 ℓ > ; 土壌処理		
[明治製菓]						

A. 除 草 剤 つづき

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
8. NH-501 フロアブル剤 (サンダーボルト) グリホサートトリウム塩 28.5 % ピラフルフェンエチル 0.19% [日本農薬、ゼネカ]	ブドウ	適用性 継 続	北海道中央農試 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>	実 ・ 継	実) [ブドウ、ナシ、モモ、ウ メ、カキ、クリ: 雑草全般] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 40～60ml<10ℓ/a>. ・ 茎葉処理. 継) (・秋冬期処理は試験実施中.)
	ナシ	適用性 新 規	<福井農試>、 <鳥取園試>、 <高知農技果試>、 <熊本農研球磨> (4)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 40, 50, 60ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>		
9. S-482 フロアブル剤 S-482 10% [住友化学工業]	ブドウ	薬 害 新 規	石川砂丘地農試、 島根農試 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 24→24ml<10ℓ> ②春期 60ml<10ℓ> ; 土壌処理	継 ・ 継	継) ・ 薬害試験の継続.
	ナシ	薬 害 新 規	埼玉園試、 長崎果試 (2)			
10. ULV-03 液剤 (ランドマスター) グリホサートイソプロピルアミン塩 6% [日本モンサント]	オウ トウ	適用性 継 続	北海道中央農試 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm程度) ; 300, 400, 500ml <(原液散布)専用散布器> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ液剤 50ml <2.5ℓ(専用ノズル)>	実	(前回判定どおり) 実) [ブドウ、ナシ、カキ、モモ、クリ、サトウ: 雑草全般(サトウを除く)] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 300～500ml/a <原液散布: 専用散布器使用>. ・ 茎葉処理. 注) ・低薬量では、散布むらが出る ことがあるので注意する.
11. WOC-01 液剤 (三共グリホサート液剤) グリホサートイソプロピルアミン塩 41% [三共]	カキ	適用性 新 規	静岡柑試落葉、 三重農技、 島根農試、 福岡農総試園研 (4)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 25ml<2.5, 5ℓ(専用ノズル)> 25 <10ℓ> 50 <5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ液剤 25ml <2.5ℓ(専用ノズル)>	実 ・ 継	実) [ブドウ、ナシ、モモ、カ ・ キ: 雑草全般(サトウを除く)] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 一年生雑草対象 25～50ml/a 多年生雑草対象 50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a (専用ノズル使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. ・ 茎葉処理. 継) ・ カキの効果、薬害の確認. ・ 薬害試験.
		適用性 新 規	広島県立大学、 長野南信農試、 島根農試、 福岡農総試園研 (4)	[多年生雑草(サトウを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml<2.5, 5ℓ(専用ノズル)> 50 <10ℓ> 100 <5ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ液剤 50ml <2.5ℓ(専用ノズル)>		
		薬 害 新 規	岐阜農総研、 島根農試 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ; 200ml→200ml<10ℓ> ②春期又は夏期 ; 500ml<10ℓ> ; 土壌処理		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
12. YF-65① 液剤 (フ リグ ロックスL) (マイゼット) シ クワットシ プロミト 7% ハ ラコトシ クロリト 5% [ゼネカ]	ブドウ	適用性 継 続	広島県立大学、 長野中信農試、 大阪農技	[多年生雑草及びスギナ ; 翌春調査含む] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 100、150、200ml <10ℓ (展着剤加用)> ; 茎葉処理 対: ハ ス 液剤 100ml<10ℓ> (3)	実 ・ 継	(実の部分は、前回(昭和63 年まで)判定どおり) 実) [下記: 一年生雑草全般; 刈取り代用] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ フ ト リ、ナシ、キイロルーツ 60～100ml/a <10ℓ/a>、 刈 80～100ml/a<10～15ℓ/a>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 効果の確認. (・ スギナは試験実施中.)
		薬 害 新 規	広島県立大学、 栃木農試	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期又は夏期 1,000ml<10ℓ> (共に展着剤加用) (2)		
	モモ	適用性 継 続	広島県立大学、 福島植防	[多年生雑草及びスギナ] ; 翌春調査含む] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 100、150、200ml <10ℓ (展着剤加用)> ; 茎葉処理 対: ハ ス 液剤 100ml<10ℓ> (2)		
		薬 害 新 規	広島県立大学、 徳島県試北	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 400→400→400ml<10ℓ> ②春期又は夏期 1,000ml<10ℓ> (共に展着剤加用) (2)		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-8085 液剤 既知化合物 0.2% [ア ク ロニ ョリ]	モモ	作用性 新 規	筑波大学	[摘花] (参考設計) ①開花30%時 (② " 50%時) ③ " 70～80%時 ; 400、300、200倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理 (1)	継 継)	・ 成分未公開. ・ 効果、薬害の確認.
		適用性 新 規	山形園試、 福島果試、 長野南信農試、 山梨果試、 和歌山果試紀北、 岡山農試 (7)	[摘花] ①開花30%時 (② " 50%時) ③ " 70～80%時 ; 400、300、200倍液 ; 立木全面又は枝別散布 対: 無処理		

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <=>中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
2. DNK-01 水溶剤 シナミト 14% [電気化学工業]	ブドウ (施設)	適用性 新 規	<長野果試>、 <山梨果試>、 <大阪農試>、 <島根農試>、 <岡山農試> (5)	[萌芽促進] 1 1月～1月 ;0.7、1.0、1.4ℓ<20ℓ> ;全面散布及び塗布 対:無処理	—	(・試験実施中)。
3. KT-30S 液剤 (フルメット液剤) ホルクロフェニロン 0.1% [協和発酵工業]	ブドウ (マスカット オブ・アレキ サント・リヤ ;施設)	適用性 新 規	島根農試、 岡山農試	[着粒安定・果粒肥大促進] 1回目;満開時 (花房浸漬) 2回目;満開10～15日後 (果房浸漬) ① 2ppm ② 5 ③ 2 → 5ppm ④ 5 → 5 (2) 対:無処理	実 継	実) [ブドウ(マスカットオブ・アレキサント・リヤ;施設):着粒安定] ・満開期。 ・2～5ppm。 ・花・果房浸漬。 継) ・果粒肥大促進効果の確認。
	ナシ (豊水)	作用性 新 規	千葉大学、 広島県立大学、 茨城農総試園研、 埼玉園試 (4)	[蜜症防止] ①満開期 5ppm ②満開10日後 10 ③満開10日後 20 ④満開20日後 20 ;花(果)房散布<十分付着> 対:無処理	—	(・適用性試験に移行して検討。)
4. KW-AA71 粉末 成分未公開 2成分 60% [協和発酵業]	ブドウ	作用性 新 規	長野果試、 山梨果試 (2)	[増糖] 1回目;満開期 2回目;満開1ヶ月後 ;150、300ppm ;花(果)房散布 <十分付着(展着剤可用)> 対:無処理	—	(・作用性試験で継続検討。)
5. NB-27 液剤 (フラスター液剤) ピコトクロリド 44% [日本曹達]	ブドウ (ノース レッド)	適用性 継 続	青森りんご試 県南、 岩手農研、 秋田果試天王 (3)	[着粒増加;品種の拡大] 展開葉8～10枚 ;500倍液<10～15ℓ> ;立木全面散布 対:無処理	実	実) [ブドウ(ノースレッド): 着粒増加] ・新梢展開葉8～10枚時。 ・500倍液<15ℓ/a>。 ・立木全面散布。
		薬 害 自 主	青森りんご試 県南 (1)			
	ブドウ (デラ ウェア)	適用性 新 規	秋田果試天王、 山形園試、 新潟園試、 石川砂丘地農試、 鳥取園試 (5)	[新梢伸長抑制] 展開葉7～8枚 ;1,000、800、500倍液 <10～15ℓ> ;立木全面散布 対:無処理	継 継	・効果、薬害の確認。
6. NB-32 液剤 リン酸 7% 加里 6% マンガン 0.1% 鈣素 0.6% 鉄 0.05% その他 [日本曹達]	オウ トウ	作用性 新 規	青森りんご試 県南、 山形園試、 山形砂丘地農試 (3)	[着色促進、(硬度維持)] 落花10日後から10～14日間隔 ①2回散布 ②4回散布 ;1,000倍液 <慣行量(展着剤加用)> ;枝別散布 対:リン酸液剤 300倍液 収穫開始14日・7日前2回散布	—	(・作用性試験で継続検討。)

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > =中間または 試験実施中(数)	試験設計 〔ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
7. P D J 液剤 n-Propyl dihydroj asmonate 5%	ブドウ (巨峰 ;無袋)	作用性 継 続	果樹試験・ブドウ (1)	〔果実の成熟(着色)促進〕 満開後35～40日(水回り期) ;1,000、700、500倍液 〈茎葉から滴り始める程度〉 ;枝別散布 対:無処理	継	継) ・着色促進効果の確認。
		適用性 継 続	愛知農試園研、 福岡農総試園研、 長崎果試 (5)	〔果肉先熟(暖地)ブドウ ;成熟(着色)促進〕 満開後35～40日(水回り期) ;1,000、700、500倍液 〈茎葉から滴り始める程度〉 ;枝別散布 対:無処理		
	ブドウ (巨峰)	自 主	大阪府立大学 (1)			
	日本ナシ	作用性 継 続	千葉大学、 鳥取園試 (2)	〔摘花〕 :別途協議	—	— (・適用性試験に移行.)
	カキ (富有)	適用性 継 続	筑波大学、 新潟園試 (2)	〔果実の成熟(着色)促進〕 :別途協議	継	継) ・着色促進効果の確認。
	モモ	適用性 新 規	広島県立大学 (1)	〔果実の成熟促進〕 :別途協議	継	継) ・効果の確認。
〔日本ゼオン〕						
8. P D J + G A ₃ 液剤 n-Propyl dihydroj asmonate (PDJ) 5% Gibberellic Acid (GA ₃) 4%	ブドウ (巨峰)	作用性 継 続	大阪府立大学、 福岡農総試園研 (2)	〔果粒肥大促進(品質)〕 ;申請書参照	—	— (・適用性試験に移行.)
	日本ナシ	作用性 継 続	千葉大学 (1)	〔果実肥大促進(品質)〕 ;申請書参照	—	— (・適用性試験に移行.)
〔日本ビィン・トーン〕						
9. R I C - 1 液剤 (ケルパック 6 6) 海藻ヒジネート	ブドウ	適用性 継 続	北海道中央農試、 島根農試、 岡山農試、 福岡農総試園研 (4)	〔さし木の根および地上部 の生育促進〕 挿木時 ;1、2、3ml 〈3～5ℓ/うね長1m当たり〉 ;灌水処理 対:無処理	継	継) ・効果の確認。
	ナシ (幸水)	適用性 新 規	福島果試、 佐賀果試 (2)	〔苗木の 根および地上部の生育促進〕 3～4月 原液1、2、3、5ml/樹 〈水1～3ℓ/樹灌水〉 対:無処理	継	継) ・効果の確認。
	モモ	適用性 新 規	愛知農試園研 (1)	〈水1～3ℓ/樹灌水〉	継	継) ・効果の確認。
	ナシ (幸水)	適用性 新 規	千葉大学、 埼玉園試 (2)	〔果実肥大・品質向上・花芽着 生への影響(連年処理)〕 ;申請書参照	継	継) ・効果の確認。
	モモ	適用性 継 続	愛知農試園研、 岡山農試 (2)	〔果実肥大・品質向上 (連年処理)〕 ;申請書参照	継	継) ・効果の確認。
〔ロイヤルインク・ストリーズ〕						

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <=>中間または 試験実施中(数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
10. TS-303 液剤 2a,3a-dipropionlo xy-22,23-epoxy-24 S-ethyl-β-homo-7- oxa-5a-cholestan- 6-one 30ppm	ブドウ (巨峰)	適用性 継 続	山形園試、 長野中信農試、 愛知農試園研、 岡山農試、 広島農技果樹 (5)	[着粒安定(有核化率向上)] ①開花14日前 ② 12 ③ 10 ;3,000倍液 ;枝別散布 <莖葉から滴り落ちる程度> 対:無処理	実 継	実) [ブドウ(巨峰):着粒安定] ・展開葉7~9枚時。 ・3,000倍液 <滴り落ちる程度>。 ・立木全面散布。 継) ・立木全面散布での効果確認。
[タマ生化学]	オウ トウ	適用性 継 続	青森りんご試 県南、 秋田果試、 山形園試、 長野果試、 新潟園試 (5)	[着果率向上] 結実樹の満開(受粉)予定10日 前(±2~3日可) ①結実樹、受粉樹 3,000倍液 ②結実樹、受粉樹 2,000倍液 ③結実樹、受粉樹 1,000倍液 ④結実樹、受粉樹 無処理 (同一濃度間で受粉) ;枝別散布 <莖葉から滴り落ちる程度>	継	継) ・効果の確認。
11. ジベレリン 水溶剤 (ジベレリン協和粉末) (ジベレリン明治) (ジベレリンTM顆粒) ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研究 会;協和醗酵工業]	ブドウ (サニー ルージュ)	適用性 継 続	果樹試験・ブドウ (1)	[着粒安定・果粒肥大促進] 満開時及び満開10日後 ;25+25ppm. ;花(果)房浸漬	実	実) [ブドウ(サニールージュ) :果粒肥大促進] ・満開時及び満開10日後。 ・25+25ppm. ・花(果)房浸漬。
12. CX-10 液剤 シナト 10% [日本カーバイド工業]	ブドウ	適用性 継 続	長野果試 (1)	[萌芽促進、発芽率の向上] 一任 ;濃度10~20倍希釈 150-2001 (散布の場合) ;全面散布又は塗布	—	(・試験実施中。)
13. エテホン液剤 (エスレル10) エスレル 10%	西洋 ナシ	適用性 新 規	青森りんご試県南 (H4、H5、H6、H7、H8、 H9)、 岩手農研 (H2、H4、H5、H6、H7、 H8)、 山形園試 (H7、H8、H9) (3)	[摘果効果]	実	実) [西洋ナシ (ラ・フランス):摘花] ・開花始期~満開2・3日後。 ・1,000倍液。 ・立木全面散布。 [西洋ナシ (ラ・フランス、ハートレット、 フレイッシュ・ビューティ、セ・ネラル・レクレーク): 摘果] ・満開後1~2週間。 ・1,000倍液。 ・立木全面散布。
[2,4-D協議会]	カキ (会津 身不知)	適用性 新 規	福島果試会津 (H6、H7、H8、H9) (1)	[熟期促進]	実	実) [カキ(会津身不知) :熟期促進] ・収穫前50~30日。 ・5ppm. ・立木全面散布。